

## 「福祉・社会保障」「医療・健康・介護」「治安・犯罪・防災」分野における統計整備の重点的課題について（未定稿）

### 【福祉・社会保障】

- ・ 格差問題への対処等の観点から、フロー・ストック（所得・資産面）に係る再分配の状況を示す指標の整備（特に、地域別（ブロックまたは都道府県別）のデータの拡充が重要であり、そのためには、指標の基になる調査や推計手法の改善が必要となる。）
- ・ セーフティネットから漏れている者の把握（行政記録の活用か？）
- ・ 業務統計を含めた、福祉・社会保障関連統計の提供に係るワンストップサービスの実現（統計調査等業務の最適化計画における改善など）
- ・ 今後の福祉・社会保障政策の在り方に係る検討の際の科学的・客観的ベースとして、福祉・社会保障全般を総合的に示す統計（社会保障給付費等）について、各種の国際基準（SNA や ILO 基準、OECD 基準など）との整合性を高め、十分な国際比較が可能となるように整備すること（ただし、その際、時系列分析等に必要な継続性を損なわないことが必要。）

### 【医療・健康・介護】

- ・ 業務記録等（DPC（診断群分類別包括評価；Diagnosis Procedure Combination）調査及び、電子化されたレセプトデータ、施設設置基準の届出等）の活用（及びそれによる客体の負担軽減、調査の効率化）
- ・ 保健、医療・薬、介護、福祉に関する統計情報の連結（例：個人を単位とした調査の実施など）
- ・ 国民生活基礎調査結果の分析の拡充（例：所得と健康状態のクロス分析を可能にするなど）
- ・ 国民医療費等の医療費に関する統計の国際比較性の向上（SHA に準じた定義等の統一化、保険適用外医療費情報の把握等）
- ・ 医師不足・偏在、僻地医療対策等に資する観点からの、地域別の医師、薬剤師等の潜在的有資格者数の正確な把握（例：民間（看護協会）データの補完的活用など）
- ・ 地域別表章の充実

### 【治安・犯罪・防災】

- ・ 安心・安全な社会の実現のため、効果的な防犯施策の立案や犯罪被害の与える影響の分析等に資する観点から、犯罪等の結果としての業務統計だけでなく、調査統計として、より幅広い対象について把握すべき事項がないかの検討